

北九州市健康・生活産業振興協議会について

平成29年度の取り組み

○農業を軸としたコミュニティ型ビジネス「コルホネス」で心も身体もハッピーネス！

※本市「いきいき健康生活応援！新サービス創出事業」採択

都市近郊の耕作放棄地を借り受け、農場や機器を会員向けに提供し、農業を通じたコミュニティの形成や心と体のリフレッシュにつながるサービスを提供する。本格的に農業を始める人には、栽培から販売まで経営を徹底的に指導する。



○小学生向けプログラミング教室

プログラミング学習を通じ、子どもの「論理的思考力」「プレゼン力」を育むサービス開発に取り組む九州工業大学の学内ベンチャー企業が、高度な教育サービスに対する潜在ニーズを掘り起こし、子育て・教育分野における新サービスの可能性を探るため、市内放課後児童クラブにて実証実験を実施。



○Iot を活用した高齢者等の見守りサービスの創出

高齢者の交通事故防止の見守りなど、社会課題の解決に資する新サービスの開発に向け、(株)オートボックスセブンと佐川急便(株)が連携して、皿倉山にLPWAの受信基地（アンテナ）を設置し、市内を走行する車両に搭載した送信端末との通信環境を確認するための実証実験を実施。



高齢者見守りサービスのイメージ
(画像提供：SSS)

○食と学びのフレイル対策による新産業創出事業

※経済産業省 「健康寿命延伸産業創出推進事業：地域の実情に応じたビジネスモデル確立支援事業」採択

市内ドラッグストア等の地域密着の場を起点として、社会参加、栄養、体力づくりを組み合わせたフレイル対策プログラムの実証実験を実施。

